

平成 31 年度岡山大学入学式及び大学院入学式 式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日ここに、学部学生 2,340 名、別科・専攻科生 47 名、大学院学生 976 名、総計 3,363 名の新入生、そして 20 か国から 146 名の留学生が、岡山大学に入学を許可されました。皆さんの長年の努力が実を結び、岡山大学において、人生の新たなページを開かれることは、私たちにとっても大きな喜びであります。ご来賓の皆様とともに、岡山大学の教職員を代表しまして、心よりお祝いを申し上げますとともに、ご列席の保護者ならびにご家族の皆様にもお慶びを申し上げます。

新入生の皆さんが今日から学ばれる岡山大学は、今から 149 年前の明治 3 年に創設された岡山藩医学館を起源とする岡山医科大学、明治 7 年の温知学校、明治 33 年の旧制第六高等学校、大正 3 年の大原奨農会農業研究所など、岡山の地にあった優れた伝統と実績を誇った高等教育機関を統合して、昭和 24 年、新制国立大学として設立されました。今年でちょうど創設 70 年の節目の年を迎えます。

岡山大学の理念は、『高度な知の創成と的確な知の継承』です。私たちは、人類社会を安定的かつ持続的に進展させるために必要な新たなる知識基盤の構築を目指すと共に、「開かれた知の府」として高度な知の創成すなわち研究の促進と、的確な知の継承すなわち教育と社会貢献の推進を通じた人類社会への発展に寄与することが求められています。そして、本学の目的は『人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築』です。すなわち岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、人類社会の持続可能性を追究するための新たなパラダイム構築に取り組むことを目的としています。

また、全国の大学の中でもスーパーグローバル大学の 1 つに位置付けられる岡山大学は現在、11 学部 1 コース、8 大学院研究科、3 つの研究所、大学病院、附属学校園を備えた、全国屈指の規模をもつ総合大学でもあります。そして、その主たる二つのキャンパスは、この会場のすぐ北に大きく広がる津島キャンパス、そして岡山駅の南に位置する医学部・歯学部・大学病院などが入っている鹿田キャンパスという、まさに市街地と一体化したロケーションを有しており、現在 1 万 3 千人の学部

学生と大学院生、留学生 700 人、教職員を合わせて約 2 万人の方々が、日々学術的研鑽を積んでいます。本学のキャンパス全体と、この岡山の地を、私たちは学びの都と書いて「学都」と呼び、地域全体で連携・協働することによって、共に発展していこうと様々な取り組みを行なっています。

本日から岡山大学の学生となる皆さんに私から最もお伝えしたいことは、この機会に SDGs「Sustainable Development Goals」という言葉をしっかり心に刻んでいただきたいということです。皆さん、これまでに SDGs という言葉を聞いたことがありますか？「SDGs」(エスディーゼー)、日本語では「持続可能な開発目標」と呼んでいます。

私たちが住んでいる「日本」という国は現在、少子高齢化という大きな課題に向き合い、持続可能な国のあり方を本気で考えなければならない状況に置かれています。その一方で、世界の人口は 2050 年の 98 億人に向かって増加し続けており、資源や環境などあらゆる面での持続可能性が著しく脅かされつつあることから、このままでは“地球が 2 つあっても足りない”という大きな危機感を世界全体が認識しています。SDGs は、地球環境と人類社会の持続可能性を追究し、「誰一人取り残さない」未来のあるべき姿を世界共通の目標として、世界中の人々や組織が連携・協働し、多様な社会課題の解決に、17 のゴールと 169 のターゲットを定めて、これまでに無かった新たな解決方法を創り出していこうという国連が主導する取り組みです。岡山大学では、私が学長に就任した 2017 年から積極的に SDGs を推進し、目標達成への貢献を本学の重要な事業の 1 つとしてきました。また本学は、国公立として唯一のジャパン SDGs アワード受賞大学でもあります。

この 6 月から始まる岡山大学と米国国務省並びにアメリカン・カウンシルズとの「Critical Language Scholarship プログラム」により、本学は全米から選出されたトップレベルの大学生と院生の 26 人を受け入れることとなります。昨年 12 月に私がワシントン DC を訪問した際、本学が留学先に選ばれた最も大きな理由は、グローバルに SDGs を推進する総合大学である事が高く評価されたことにあると教えていただきました。また昨年引き続き、ヨーロッパの最も伝統のあるオランダ ライデン大学の日本学科の学生 24 名も、この 4 月から 3 か月間の予定で本学での日本語学習を開始しています。

これから皆さんは、岡山大学という日本屈指のSDGs推進大学で、それぞれの課題に向かって学修を積むこととなります。本学におけるSDGs達成貢献への行動指針の詳細や実際の取組み事例については、ホームページ等で情報公開していますので、皆さんには、ぜひ「岡山大学といえばSDGs推進大学であり、それはなぜか、そして自分が学んでいる領域とどのように関連しているか・・・」ということについて、まず学んでいただき、一緒に認識を深めていただきたいと思います。

その上で、皆さんが本学での学びを通して成長し、自己実現を果たすために大切だと思えることをお伝えしたいと思います。米国のエンターテイナー、実業家であるウォルト・ディズニーが、夢を実現する4つの秘訣をこう教えてくれています。The special secret of making dreams come true can be summarized in four C's. They are Curiosity, Confidence, Courage, and Constancy. 私は curiosity、好奇心こそが、人生における全ての原点だと思っております。私は高校生時代、米国留学への強い好奇心を実現させ、1年間フィラデルフィア近くの Emmaus High School に通いました。この留学体験は私に、Positive Thinking の大切さや、Fairness（公平であること）の重要性を教えてくれました。またボランティア活動を通じた多くの方々との交流は、日本の歴史・文化の重要性を改めて感じた貴重な機会であり、失敗を恐れずに一歩前に踏み出し体験することこそ若者の特権である、という私の実感の源（みなもと）でもあります。

皆さんには、それぞれの curiosity、好奇心を大きく育てていただきたいと思います。本学のキャンパスで学ぶ多くの留学生と、SDGsの取組みなどを通じてしっかり交流したり、皆さんご自身が留学にチャレンジして一歩前に踏み出すことは、夢の実現に近づくことになると思います。

最後に、本日ご臨席くださった保護者ならびに関係者の皆様にお礼とお願いを申し上げます。このたびは、皆様の大切なご家族の進学先として、私たち岡山大学を選んでくださり誠に有難うございました。私たち教職員一同、新入生の皆さんが、豊かな教養、つながる専門性、活用できる情報力、社会をリードする行動力、そして自己の成長を追究できる自己実現力という、本学のディプロマポリシーである「5つの能力」をしっかりと身に付け、日本だけでなく世界でも活躍できる教養豊かなグローバル人材として成長されるように、全力で支援をして参りたいと思います。また保護者の皆様におかれましては、岡山大学が、

今後も引き続き充実した学びの場となるよう、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、新入生の皆さん、今日から岡山大学の学生として、希望に溢れた新しい一日が始まります。どうか自分を信じ、常に Curiosity を忘れずに、将来への大きな夢と希望に向かって大学生活を送ってください。私たちは、皆さんとともに築いていくこれからの岡山大学の未来が、これまでの本学の歴史や伝統を超えるものとなり、皆さんにより大きな誇りと自信をもたらすことを期待しています。

本日は誠にめでとうございました。

平成31年4月2日

国立大学法人 岡山大学長
榎野 博史